

NO23

津市内に残る弾痕

所在地は津市大字神戸（三交バス「上神戸」より徒歩8分）



津市が受けた空襲被害のようすは、いろいろな県史研究資料に残されています。

それらによると、1945年1月7日以降、津市は何度も空襲を受けていますが、とくに7月24日の橋北地区は、死者1200人、負傷者1300人という壊滅的な被害を受け、28日夜にはB29、180機からのおびただしい焼夷弾攻撃によって、市街地の7割が消失したと記されています。

このような戦争の爪あとを自分の目でも見てみたいと思い、資料で紹介されていた寺社をいくつか訪ねました。

津市にある神社には、今も近くで炸裂した爆弾による生々しい弾痕があります。

それらの傷跡は、わたしたちに平和の大切さを「感じ、感謝し、守り抜く決意をもつ」よう語りかけているようでした。